

会

告

第76回講演大会開催地について

今秋の第76回講演大会の開催地が決定いたしましたのでお知らせいたします。詳細については追って会告いたします。

記

1. 期 日 昭和43年9月21日(土), 22日(日), 23日(月)
2. 会 場 東北大学工学部 仙台市荒巻字青葉

第76回講演大会討論会テーマのお知らせ

今秋開催の第76回講演大会における討論会テーマが下記のごとく決定いたしました。多数ご応募下さるようお知らせいたします。

討論原稿の募集など詳細については追って会告いたします。

記

1. 高炉プロセスの反応工学
2. 鋼の凝固と介在物
3. 鋼の脆性破壊
4. 金属間化合物による鉄鋼の析出硬化
5. 鉄鋼の格子欠陥

- | | | | |
|----|-----|---|----|
| 座長 | 三本木 | 貢 | 治君 |
| 座長 | 荒木 | | 透君 |
| 座長 | 田中 | | 実君 |
| 座長 | 幸田 | 成 | 康君 |
| 座長 | 橋口 | 隆 | 吉君 |

なお、第76回講演大会では「集合組織」について日本金属学会と共催でシンポジウムを開催いたします。

「鉄と鋼」広告掲載料金改正について

会誌「鉄と鋼」は内容の充実にともない、発行部数も著るしく増加してまいりましたが、最近用紙代、印刷費など諸経費の値上りがはなはだしいものがあります。つきましては昭和43年4月号掲載の分よりやむをえず広告掲載料金を下記のごとく改正いたしますのでお知らせいたします。なにとぞご了承のうえ今後ともよろしく本誌をご利用下さるようお願いいたします。

会誌「鉄と鋼」広告掲載料金(円)

表紙	紙	4	1ページ	55,000	色紙	1ページ	42,000
表紙	紙	3	1ページ	42,000	前付	1ページ	34,000
表紙	紙	2	1ページ	50,000	後付	1ページ	30,000
綴込			1枚	42,000	記事広告	1ページ	30,000

なお、本会誌の広告は下記において取扱っておりますので、掲載ご希望の方はお申しつけ願います。

(株) 協会通信社 東京都中央区銀座西7丁目2番地ニューギンザビル
電話 (571) 8291 (代表)

(株) 広和堂 東京都港区東麻布1丁目4番地朗生ビル
(表紙3, 4のみ取扱い) 電話 (584) 6791 (代表)

第13回技術講座開催のお知らせ

— 5 月 30 日, 31 日 —

本会では会員各位はじめ関係各位のご要望により、鉄鋼界にあつて製造、研究の業務に携わる人々が常識として把握しなくてはならないテーマを広く取り上げ、それぞれの権威者から最近の動向、発展の方向についてお話を願ひ、討論を行なうために技術講座を開催してまいりました。

第13回技術講座は「鋼の強靱化」をテーマに取り上げ、下記演題のもとに講師にご講演をお願いすることになりました。お誘い合わせの上ご来聴下さいませようご案内申し上げます。

1. 期 日 昭和43年5月30日(木)、31日(金)

2. 会 場 農協ホール 東京都千代田区大手町1-5

(国鉄東京駅丸ノ内北口下車徒歩約10分
地下鉄丸ノ内線、東西線大手町下車 農協ビル8階)

3. プログラム —鋼の強靱化—

第1日(5月30日(木) 9:30~15:30)

9:30 鋼のマルテンサイト変態

八幡製鉄 西山 善次君

13:00 鋼の強化と転位論

東京大学 鈴木 平君

第2日(5月31日(金) 9:30~15:30)

9:30 加工熱処理

京都大学 田村 今男君

13:00 析出硬化

東京大学 荒木 透君

4. 聴講無料 事前のお申し込みは不要です。

5. テキスト代 1000円

第12回技術講座テープ貸出について

本会では、鉄鋼の製造、研究に従事する技術者を対象に、鉄鋼技術に関する最近の動向、発展の方向について、それぞれの権威者からご講演願ひ、討論を行なうため昭和40年より開催してまいりました。

2月21日、22日の両日第12回技術講座を開催いたしましたが、当日ご聴講できなかった方々のため全講演を録音テープにおさめ、第11回技術講座より貸出しておりますので、広くご利用下さいませようご案内申し上げます。

記

1. 第12回講演プログラム —鉄鋼業における電子計算機の応用—

(1) 電子計算機利用の概況(2時間)

慶応大学 浦 昭二君

(2) 製鉄、製鋼における電子計算機の応用について(2時間)

日本鋼管(株) 今 泉 益 正君

(3) 圧延操業における電子計算機の応用について(2時間)

富士製鉄(株) 吉 谷 豊君

(4) 生産管理における電子計算機の応用について(2時間)

日本EDP(株) 三 宅 通 夫君

2. 貸出期間 1回につき1週間以内とします。

3. 貸出料金 無料(送料実費)

4. 申込先 社団法人 日本鉄鋼協会 編集課

東京都千代田区大手町1-5 経団連会館 電 03-279-6021

第12回技術講座テキストは、まだ余部がありますので、お申し込み下さい。(1部 1000円)

東海支部講演会講演募集

主 催 日本鉄鋼協会東海支部、日本金属学会東海支部

期 日 昭和43年6月9日(日)

申込締切 昭和43年4月25日(木) …講演題目、講演者、所要時間、スライドの要否、連絡先記入のうえ

会 場 名古屋大学工学部

申 込 先 名古屋大学工学部金属鉄鋼工学教室 日本鉄鋼協会東海支部
(名古屋市千種区不老町 Tel. 名古屋 (781) 5111 内 3372)

第12回材料研究連合講演会講演募集要綱

- 共 催** 日本学術会議材料研究連絡委員会, 応用物理学会, 化学工学協会, 金属表面技術協会, 高分子学会, セメント協会, 電気学会, 土木学会, 日本鋳物協会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本建築学会, 日本航空学会, 日本材料学会, 日本材料科学会, 日本材料強度学会, 日本造船学会, 日本鉄鋼協会, 日本非破壊検査協会, 日本木材学会, 溶接学会, 窯業協会
- 幹事学会** 化学工学協会, 日本金属学会, 日本材料学会, 窯業協会
- 開 催 日** 昭和 43 年 9 月 2 日 (月)・3 日 (火)
- 会 場** 京都大学工学部土木総合館
- 講演申込**
1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み, 参加学会員以外の方は直接幹事学会に申込みと。
 2. 講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが, 最近の研究に属するものが望ましい。なお, 研究内容は材料の諸物性, 諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。
はじめての試みとして, 今回は後記主題によるシンポジウムをも開催するので, 多数のご参加を期待する。
 3. 講演時間は約 20 分 (討論を含む) の予定。
 4. 講演の採択などは材料研究連合講演会運営委員会に一任されたい。
 5. 申込用紙は B 5 判とし, 次の事項を必ず記載すること。
 - a) 講演題目
 - b) 梗概約 200 字
 - c) 講演部門名
 - d) 講演ならびに連名者の各氏名, 勤務先, 通信先, 学会員資格, 年令 (連名の場合には登壇者に○印をつけること)
 - e) 講演題目, 氏名, 勤務先には英文を付記すること。
 - f) スライド使用の有無 (大きさは 35 mm)
 - g) 欧文論文集 (付記参照) へ投稿希望の有無
- 申込締切** 昭和 43 年 6 月 10 日 (月)
- 講演前刷** 聴講者のテキストとし, あわせて講演時間の短縮, 掛図などの節約のため, 講演者全部の講演前刷を作るので, 講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ (参加学会会員外は, 申込んだ幹事学会へ) 提出すること。
- a) 講演前刷原稿提出期日 7 月 20 日 (土)
 - b) 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内 (図表, 写真を含めて邦文で約 2600 字) に明りょうに墨書しなるべく余白をさけるように留意のこと (講演前刷はオフセットになるので写真も入れることができる)
 - c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り, 所定用紙以外に書いた原稿は受付けない。
- 講演部門**
- I. Micro-structure of Materials (微視的構造)
 - II. Mechanical Properties and Behavior of Materials (材料の力学的性質と挙動)
 - III. Physical Properties of Materials (材料の物理的性質)
 - IV. Chemical Properties of Materials (材料の化学的性質)
 - V. Strength of Structures (構造物強度)
 - VI. Working and Processing of Materials (材料の加工と処理)
 - VII. Special Problems (その他)

——<シンポジウム>——

下記予定によりシンポジウムを開催いたしますので, できるだけ多くの方々の講演を募集いたします。ふるってご応募下さい。

一般討論: 9 月 2 日 (月) AM. 9:00~12:00 を予定。

主題「動的環境下における材料の劣化と腐食およびその対策」

(たとえば, 応力腐食割れ, 環境応力割れ, 腐食疲労, 摺動腐食, 伝熱面の腐食, 流動下の腐食など)

講演 15分 討論 15分の予定

パネルディスカッション: 同 日 PM2:00~5:00 を予定。

主題「材料の腐食と防食設計」

話題提供者 3~4 名が 15 分程度発言し, 討論を行なう。

[注] 本シンポジウムへの講演申込は, 講演部門 IV (シンポジウム) と明記し, 他の申込要領, 原稿作成等については一般講演と同様である。

【付記】

1. 発表論文は Proceedings of the 12th Japan Congress on Materials Research に載せ、諸外国にも頒布の予定である。
2. 本論文集に掲載される論文は今回発表されたもので、欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる規定原稿用紙に執筆し、講演会当日までに、日本材料学会気付 材料研究連合講演会論文集刊行会（京都市左京区吉田泉殿町1の101 Tel. (075) 761-5321）に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また、不備な原稿は返却することがある。

第5回理工学における同位元素研究発表会

期 日 昭和 43 年 4 月 24 日(水), 25 日(木), 26 日(金)

場 所 国立教育会館（東京都千代田区霞が関 3-2-3 文部省となり）

日 時	大 会 議 室	中 会 議 室	第 1 会 議 室
第一日 4 月 24 日 (水)	午 9:20 開会の挨拶 9:30 放射線測定 (1) P・1 11:00 [特別講演 1] 電算機による γ 線スペクトルの解析 P・2		
	午後 13:00 [パネル討論] 半導体検出器による γ 線スペクトルの測定 P・2		17:15 懇親会 P・2
第二日 4 月 25 日 (木)	午前 11:00 [特別講演 2] 陽電子消滅法による物性研究 P・3	9:20 放射線測定 (2) P・5	9:20 安全取扱 P・8
	午後 13:00 放射線利用計測 (1) P・3 14:55 放射線利用計測 (2) P・3 16:05 放射線利用計測 (3) P・5	13:00 放射線測定 (3) P・6 13:50 放射線測定 (4) P・6 15:30 標識化合物 P・7	13:00 廃棄物処理・汚染除法 P・9 14:00 トレーサー (1) P・9
第三日 4 月 26 日 (金)	午前 9:20 放射化分析 P・10	9:20 オートラジオグラフィ P・13 10:40 トレーサー (2) P・14	9:20 照射効果 P・17 11:00 [特別講演 3] Experience in Design and Manufacture of Process Irradiators and Their Cobalt Sources. P・18
	午後 13:00 [特別講演 4] 質量分析の現状 P・11 14:10 同位体の製造・分離 P・12 15:35 分析 P・12	13:00 トレーサー (3) P・15 14:10 トレーサー (4) P・16	14:00 放射線化学 P・18 15:00 ラジオグラフィ P・19

(本会を通じて申し込みのあったもの)

4 月 25 日 (木) 大会議室

25 P-I-10 ^{241}Am γ 線鋼板断面形状測定装置

富士広畑 市 嶋 勇ほか

4 月 26 日 (金) 中会議室

26 P-I-1 オートラジオグラフィ法による鋼塊の内部組織の観察ならびに検討

神鋼中研 谷 口 政 行ほか

26 P-I-2 定盤保護剤の R I による追跡

富士広畑 江 頭 武 二ほか

日本金属学会セミナー

合金の時効過程とその解釈

協賛 応用物理学会，金属表面技術協会，軽金属学会，電気学会，電気化学協会，日本鋳物協会，
日本機械学会，日本結晶学会，日本原子力学会，日本材料学会，日本伸銅協会，日本塑性加工学会，
日本鉄鋼協会，日本電子顕微鏡学会，日本非破壊検査協会，日本物理学会

日時 昭和43年6月24日(月)，25日(火)

会場 発明会館(東京都港区芝西久保明舟町17(502) 0511)

聴講料 (テキスト代を含む)

会 員(維持員会社の社員を含む) 4,000円
非 会 員 6,000円
学 生 会 員(大学院学生を含む) 1,400円
学生非会員 2,000円
(協賛学協会の会員は会員聴講料とします)

申込締切 6月10日

定 員 250名(ただし定員に達し次第締切ます)

申込要領 所定申込書各欄ご記入の上聴講料を添え(現金書留，為替，振替仙台5592のいずれでもよい)下記宛お申込み下さい。到着次第聴講券をお送りいたします。

申 込 先 仙台市大町3丁目165番地(東活ビル)
日本金属学会 電話 0222-(23)3685

受講対象 大学院修士課程および金属関係の大学卒業程度のもの。

なお，関西地区において今秋さらに同一内容で再度開催いたします。

日 程

第1日 6月24日

9:30~11:30	時効析出の基礎過程	東北大	平 野 賢 一
12:30~14:30	溶質原子と格子欠陥の相互作用	東 大	堂 山 昌 男
14:40~16:40	合金の析出の速度論的理論(侵入型溶質原子の析出を中心に)	阪 大	藤 田 英 一

第2日 6月25日

9:30~11:30	置換型合金における時効過程と格子欠陥	東北大	木 村 宏
12:30~14:30	アルミニウム合金および銅合金の時効過程	京 大	村 上 陽太那
14:40	自由討論		

“鋳型設計手順”販売のお知らせ

日本鉄鋼協会共同研究会製鋼部会鋳型分科会では，昭和42年8月“鋳型設計手順”をまとめました。下記により本会会員に販売いたしますので，現金同封のうえお申し込み下さい。

記

1. 内 容 I. 緒言 II. 手順作成の要因および対象鋳型の選定経過
III. 設計手順作成概要 IV. 設計手順 V. 設計後のチェック
VI. 応用例 VII. 他文献との比較 VIII. 総括 IX. 結び
付表
2. 価 格 300円(送料実費)
3. 申込先 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館3階
日本鉄鋼協会技術部(電話 03-279-6021)



日本鉄鋼協会編“鉄鋼規格便覧”正誤表について

1967年6月発行いたしました“鉄鋼規格便覧”中一部誤りがあることがわかりましたので正誤表を作成致しました。

下記宛に，お申しつけ下さいますよう，お願い致します。

○地人書館 編集部 東京都新宿区中町15 電話 (260) 7161